

かくどけい

111号

KAKUDOKEI 2013



公益社団法人
熊本県理学療法士協会
Kumamoto Physical Therapy Association

広報誌「かくどけい」

平成 25 年 9 月 30 日 発行



- 001 巻頭言 「お・も・て・な・し」 佐藤 亮
- 002 理事会報告
- 008 各部・委員会報告
- 福祉部
- 事業部
- 生涯学習部
- 法人事業審議委員会
- 渉外部
- 学部
- 宣伝部
- 教育部
- 014 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会
市民公開講座のご紹介
- 015 事務局だより
- 016 くまもと北から南から
- 017 学会・研修会印象記
- 018 大観望 「この頃想うこと」 木原伸一
「オリンピック・パラリンピック」 岩田輝彦
- 019 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 020 よろず運動療法相談所 「手軽にできる腰痛体操」
- 021 医療・介護お役立ち情報
- 022 他士会便り 「転ばぬ先の杖」 富山県 No.129
学会・研修会のお知らせ 「第57回学術研修会」
- 023 学会・研修会のお知らせ 「福祉研修会」 「介護教室」
- 024 異動・休会・復会・退会の手続きについて
- 026 事業予定表
- 037 学術事業部文献紹介
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (公社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 お・も・て・な・し 』

理事 佐藤 亮(勝久病院)

2013年9月19日は「中秋の名月」。我が家の上空にも見事な満月が浮かんでおり、日本人でよかったと感じた瞬間でした。皆様もきっと夜空を見上げていたことと思います。ただし中秋の名月当夜の満月は、今年を最後に2021年まで見られないそうです。「隋兵寒合（ずいびょうがんや）」、藤崎八幡宮秋季例大祭も終わり一気に秋が深まっているようです。日中との気温差も大きくなりますので、風邪など召されませんように体調管理にはお気をつけ下さい。

さて9月8日早朝、アルゼンチン・ブエノスアイレスで開かれたIOC(国際オリンピック委員会)総会で、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。1964年以来2度目の東京開催となりますが、理屈抜きに嬉しく、是非成功してほしいと願うばかりです。その総会での滝川クリステルさんの招致プレゼンテーションは非常にインパクトがありましたが、プレゼンテーションの冒頭で口にした「お・も・て・な・し」とは何なのでしょう。そもそもその意味は「とりなす、処置する」、「取り扱う、待遇する」というもので、現代のように接待に関して用いられるのは中世以降になってからだそうです。英語に訳するとホスピタリティ(hospitality)となりますが、この言葉は特にサービス業で使われています。語源はラテン語のHospicium(客人等の保護)であり、それが英語のHospital(病院)やHospice(ホスピス)となっています。それらは私たち理学療法士の多くが所属する施設であり、私たちは治療に訪れる患者様を理学療法により治療することが目的となり、病院というところは、患者様やその家族に対して親切に厚遇すべき場所なのです。つまり私たちは自分たちがホスピタリティ・ビジネスに従事しているということを実感しなければならぬと考えるべきなのです。医療においては総務省の職業分類ではサービス業に分類されており、平成7年の厚生白書においても医療はサービス業だと明記されています。私たちは医療のみならず保健や福祉の発展に寄与することが出来ると思っておりますが、リハビリテーションとは「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きることを目的とした活動」であり、理学療法士はその活動をサポートする役目にあります。理学療法士として人と向き合う仕事をする以上、対象となる方々の人間性や信条、個性、感性を大切に、「心からのおもてなし」や「思いやり」といったサービスに「心」を加えた活動を提供することが出来るようになることが個人や組織に要求され、社会からの信頼や信用、安心感を生むための活動を日常から行う必要があると考えます。当協会は理学療法士という専門職の団体ですが、当たり前であり当然しなければいけないサービス、対象者の満足度を高めるサービス、対象者が欲していることを真剣に考え、対象者が求めている要望を超えたサービスを提供できるよう公益法人となった今、更に努力していきたいと思っております。

熊本県内に2000名を超す会員を抱える当協会は現在組織改編を行っている最中であり、次年度より10ブロックとなります。各ブロックではこれまで以上に県民の皆様へ向けて公益性のある事業を展開すべく、次年度の事業を計画しているところです。11月には熊本県作業療法士会と合同で開催する九州理学療法士・作業療法士合同学会にて市民公開講座を崇城大学市民ホール(熊本市民会館)で行います。「人に役立つロボット作りを目指して」というタイトルで株式会社テムザックの高本陽一先生をお迎えしてお話をさせていただきます。ユーザーニーズをロボット技術で解決することに集中した開発姿勢は、対象者や家族を中心としたリハビリテーションを提供する私たちと通ずるものもあり大変興味深いお話が聞けるのではないかと楽しみにしています。皆様のご参加お待ちしております。



理事会報告

平成25年度 第4回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年6月5日(水)19:00~20:45
 場所：熊本総合医療リハビリテーション学院
 出席者：
 (理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・三宮・田島・筒井・野津原・増田
 (監事)寺川・中島
 (事務職員)石黒・前田・吉永
 欠席者：
 (理事)前田・野間・光本 (相談役)森重
 書記：金子・山下(菊南病院)

1. 報告事項

- 1) 平成25年度特別委員会報告
 ◇情報共有推進化特別委員会
 (田島)現在、HPは安定しており作業は待機状態。
 ◇渉外活動推進特別委員会
 (坂崎)特になし。
 ◇組織検討特別委員会
 (会長)業務の洗い出しがほぼ終了。6月13日、業務の洗い出し、または業務の振り分けを行う予定。

- 2) 車いすテニス大会「九州大会～熊本OPEN～」支援について **【スポーツ領域小委員会】**
 期 日：平成25年7月6日(土)・7日(日)

- 3) 次年度広報誌「かくどけい」の発行について **【広報部】**
 新広報誌発行に向け、発行回数・部数・内容・配布場所などの検討を行っている段階。

- 4) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

○第13回テーピング講習会(足関節編)

【変更前】 期 日：平成25年7月
 場 所：調整中(阿蘇地区)
 講 師：西村英治、東利雄、
 補助講師5名
【変更後】 期 日：平成25年7月7日(日)
 場 所：大阿蘇病院
 講 師：陣上修一、木村淳一、
 補助講師5名

○第3回県民健康スポーツ教室

【変更前】 期 日：平成25年5月19日(日)

【変更後】 期 日：平成25年5月26日(日)

※5月19日(日)に予定していたグラウンドゴルフ大会は雨天のため5月26日(日)に日程を変更、熱中症の危険性があると判断し、体力測定は中止した。

○第10回呼吸循環系理学療法セミナー

【変更前】

期 日：調整中 場 所：調整中
 テーマ：調整中 内 容：調整中
 講 師：調整中
 参加費：会 員 ¥3,000 非会員 ¥5,000
 定 員：40名

【変更後】

期 日：平成25年7月28日(日)
 場 所：青磁野リハビリテーション病院
 テーマ：「知っておきたい循環器リスク」
 「知っておくべきリハビリの進め方」
 講 師：山岡香穂里、西村洋
 参加費：会 員 ¥1,000 非会員 ¥2,000
 定 員：80名

2. 協議事項

- 1) 平成25年度公衆衛生事業功労者の表彰について **【事務局】**

(坂崎)保健所又は保健センターに勤務している現職の理学療法士が条件に当たるとはならないだろうか。
 (三宮)2年前であれば、熊本保健所に勤務していたものがいるが、25年程勤務していたはずだが。
 (会長)該当者の実績を確認する必要がある。その後県に表彰の可否確認を。もしその条件で許可ができれば表彰してもかまわないか。
 (理事)了承。(11名/11名)

- 2) 複合機リースの借り換えについて **【事務局】**

【現リース】 リース料：19,530円(税込)
 カウンター料：モノクロ 2.9円
 2色カラー ×
 フルカラー 23.0円
【新リース】 リース料：16,380円(税込)
 カウンター料：モノクロ 2.5円
 2色カラー 4.0円
 フルカラー 15.0円

※総額 ¥1,050,000

(坂崎)事務員の作業量の軽減と、買い換えることにより性能もあがり、かつ費用軽減も計ることができる。事務局としては新リースである「コニカ」に変更しようと考えている。
(理事)了承。(11名/11名)

3) りんどう賞の基準の新設について

(第3回理事会継続審議) 【三宮理事】

第3回理事会で継続検討となった案件について、前回の意見を踏まえ検討。

▼私案2

1. 養成校卒業(国家資格取得)年度に入会し、3年以上10年未満で現在まで入会が継続している。
2. 会費未納や入会后(入会前は?)に罰則などの前歴がない。
3. 入会后3年以上、部局又はブロック活動などを献身的に行っている。
4. 3回の発表・論文などの学術実績がある。
5. 理学療法士としての社会貢献実績やそれに資する理学療法士以外の資格がある。
6. 理事・部局長・ブロック長などの推薦がある。

(坂崎)大きく学術貢献、社会貢献、協会貢献の3つの要素を含んでいることになっているが、3つの項目を分けていいのではないか。また、新人教育プログラムを終了者という項目を入れたほうがいいのではないか。

(中島)私案6項目について意見するが、3.4.5の項目においては、対象者の行為を指す。必須となるのは、1.2.6の項目であると判断する。4の学術的な項目を規定にするのであれば、理事・部長・ブロック長は把握できていない。その為、一番把握できている者は、所属長であると思われる。6の項目において所属長の推薦も含める必要があると思われる。

(会長)3.4.5においては、1つの項目で了承とするのか、また、2つの項目でクリアとするのか、それとも全てをクリアする必要があるか。

(田島)3つの内2つの項目はクリアする必要があるであろう。

(大島)3の項目であれば、3年以上部局活動を行っている者となると非常に対象者が増えてしまうので、2つの項目をクリアした者にすれば篩いをかけたことになると判断するが。

(最終決定案)

りんどう賞推薦基準案

熊本県理学療法士協会会員で以下の条件を満たすもの。

必須条件

1. 新人教育プログラム修了者
2. 会費未納や罰則などの前歴がない。
3. 理事・部局長・ブロック長または所属長の推薦がある。

以下の条件を原則2項目以上満たしているもの

4. 入会后3年以上、部局又はブロック活動などを献身的に行っている。
5. 3回の発表・論文などの学術実績がある。
6. 理学療法士としての社会貢献実績やそれに資する理学療法士以外の資格がある。
*4.5.6のうち、一つではあるが特に顕著な業績があると認められるものも推薦することが出来る。

(理事)了承。(11名/11名)

4) 理学療法士講習会の講師について

(第3回理事会継続審議) 【教育部】

2016年度以降は認定専門理学療法士が講師となるので、専門理学療法士ならびに認定理学療法士の資格者選出が課題となる。どのように対応していく事が良いのかご検討いただきたい。

(会長)県士会レベルで主催する研修会・講習会でも、講師が認定専門理学療法士である必要があるのか確認して、必要があるのであればそのリストを貰わないといけない。

(田島)全国協会生涯学習部の受付窓口でメールで確認すると適切に返事がもらえると思う。

(会長)生涯学習部部長に、全国の生涯学習部に確認するように依頼する。その結果で認定専門理学療法士のリストが必要であれば2016年度に間に合うように2015年度のうち準備する。

3. その他

(佐藤)6/18の第1回新人研修会の出席者は、新人研修会201名、懇親会81名の参加となる。

(川上)5/11に介護保険審査会に参加した。会長は継続で由井氏。副会長は医師。

以上、閉会

平成25年度 第5回理事会議事録(要約版)

日時:平成25年7月3日(水)19:00~20:30

場所:熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者:(理事)北里・大島・前田・坂崎・川上・佐藤・三宮
飯星・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事)寺川・中島
(事務局員)山内 (事務職員)石黒・前田・吉永
欠席者：(理事)大脇・野間
書記：緒方(阿蘇立野病院)・高田(寺尾病院)

(介護老人保健施設白藤苑)

3) 車いすテニス大会派遣者について

【スポーツ領域小委員会】

派遣者：7/6(土) 松本 泉、大津知昌
7/7(日) 松枝頼子、倉野久美

1. 報告事項

1) 平成 25 年度特別委員会報告

◇情報共有推進化特別委員会

(田島)ホームページのトップページ部分や新規入力システム等の項目の入れ替え、組織検討特別委員会の状況決定のタイムスケジュールの事前打ち合わせ中。

◇渉外活動推進特別委員会

なし

◇組織検討特別委員会

(前田)6/13、6/29 会議開催。新部長案を作成中。業務洗い出しと新組織へ向けて振分けを行っている。7/18 に新部長と新組織体制業務内容・連携等、今後の規程と事業マニュアルの説明予定。11 月を目途に 26 年度の事業計画予算案までの流れの検討をしていく。

2) 平成 25 年度事業計画等の修正・変更について

○福祉研修会

【変更前】期 日：平成 25 年 10 月 25 日(土)

【変更後】期 日：平成 25 年 11 月 29 日(金)

○第 45 回市民公開講座

【変更前】期 日：平成 25 年 9 月

【変更後】期 日：平成 25 年 10 月 6 日(日)

○熊本市ブロック東地区会議

【変更前】期日並びに場所：調整中

【変更後】期 日：平成 25 年 6 月 13 日(木)
平成 26 年 2 月 20 日(木)

場 所：(株)くますま

○平成 25 年度リスク管理研修会

(第 1 回卒後教育研修会)

【変更前】場 所：熊本保健科学大学

講 師：調整中

【変更後】場 所：熊本リハビリテーション病院

講 師：循環器：河崎靖範

呼吸器：森下一樹

代謝系：古川 繁

○第 13 回試験直前介護支援専門員試験対策講座

【変更前】期 日：平成 25 年 9 月末

講 師：大石逸子氏

(地域ケアプラン研究所・海)

【変更後】場 所：平成 25 年 9 月 29 日(日)

講 師：石本淳也氏

4) 熊本市ブロック東地区勉強会について

【熊本市ブロック東地区】

7/18 東地区勉強会(毎月第 3 木曜日を予定)

5) 平成 25 年度公衆衛生事業功労者の表彰(推薦)について

【増田理事】

今回は 1 名の推薦となった。内容は、添付資料の通り

6) 熊本地域リハビリテーション支援協議会報告

【前田副会長】

・平成 24 年度報告事項報告及び 25 年度事業計画 他

7) 平成 25 年度第 1 回熊本市保健医療専門団体連合会理事會報告

【佐藤理事】

(1)平成 24 年度事業・決算報告

(2)平成 25 年度事業計画・予算について

・医専連から県北豪雨災害救援金 30 万円。

・医専連シンポジウムと市民公開講座はスケジュールが過密となる為、市民公開講座は健康フェスティバル時に移動し分散開催とする。

8) 読売新聞社主催「第 42 回医療功労賞」候補者の推薦依頼について

【事務局】

※推薦〆切：9/13(金)

(坂崎)読売新聞社主催の医療功労賞の候補者推薦の依頼がきている。事務局から後日送付される資料をもとに次回の理事会で協議頂きたい。

9) その他

・熊本市健康フェスティバル企画準備委員会について
(大島)7/16 に熊本市健康フェスティバルの企画準備委員会があるが西地区長のみ出席となる。都合のつく理事は、当会議に出席頂きたい。

(田島)熊本市ブロック西地区なので代理で出席する。

・熊本シティ FM 放送出演について

(三宮)本日、シティ FM の出演。

・日本プライマリケア連合学会九州地区総会・研修会について

(会長)来年 2 月開催の日本プライマリケア連合学会九州地区の総会・研修会のシンポジストに当協会・作業療

法士会から代表者推薦の依頼を受け、当会から大久保氏、作業療法士会から内田氏の推薦あり。協議の結果、内田氏に決定した。

・法人移行記念祝賀会について

(大島) 公益法人の記念祝賀会は、10月12日(土)18時受付、ホテルニューオータニにて。

2. 協議事項

1) 医専連代議員・同予備代議員の推薦について

【事務局】

代議員(理事候補) : 1名 (前年度 田島理事)

代議員 : 1名 (前年度 増田理事)

予備代議員 : 1名 (前年度 佐藤理事)

継続にて承諾。

2) 平成26年度協会組織新体制(新部長)承認について

【組織検討特別委員会】

(前田) 新組織図に基づいて新部長の人選を行った。理事会での承認をお願いしたい。(資料参照)

(前田) 部長会議は7/10、全体説明会は7/18に予定。内容、洗い出しシートと分掌規程を理解頂く。運用マニュアルの作成と次年度の事業計画案予算案の作成を依頼し、11月に完成するような流れにする。

(会長) 新部長・委員長案について賛成の方は挙手を。

(理事) 承認。(12/12名)

(会長) 来年度から、事務局長を前田副会長に、教育学术局長を田島理事、地域局長を飯星理事、社会局長を光本理事にお願いする。

(会長) この件について賛成の方、挙手を。

(理事) 承認。(12/12名)

(大島) 学会評議員長は田島理事のままか。

(田島) 継続で構わない。

3) 車いすテニス大会について

【スポーツ領域小委員会】

(野津原) 次年度からでも日当を出せるようにはできないかとのことであった。

(坂崎) これまでは、交通費でしか対応していない。講師料や交通費という形で出すのは不可能ではない。

(会長) 出す方法は、公募という形で募る、あるいは、特別な技術が必要とされるものは、こちらから選任して派遣する時に、講師という名目で参加してもらうという対応で理解して頂くという方法も考えられる。次年度からの予算案にむけて検討頂きたい。

4) 「理学療法の日」広告掲載について

【事務局】

(坂崎) 読売新聞関連の広告社より、当協会を広告に掲載したいとの提案があった。

(会長) 不要負担がないのであれば、広告社に任せてもいいのではないかと思う。

(中島) 記事を提出するだけでいいのか。

(坂崎) そう認識している。経費が発生しないことを条件に、原稿のみの提供でよければ受けることとする。

5) 理学療法士講習会の講師について(第3回理事会継続審議)

【教育部】

(三宮) 2016年から、認定・専門理学療法士あるいは新人教育プログラムに関わる研修等は、認定・専門理学療法士あるいは新人教育プログラム修了者に限られる。学術大会などで、認定理学療法士以外の方に、依頼することも可能であるが、その際は、認定のポイントがつかないということになる。

(中島) 認定・専門理学療法士の資格を持った人が、講師であればポイント取得が可能という事であるが、その主催者が個人であればどうするのか。

(会長) 今までは、理学療法士講習会あるいは専門理学療法士の講習会は、県士会単位で行っていた。病院単位や個人で行っている研修会などの開催は、こちら側に登録したものに関してはありうる。原則、所属する都道府県士会の了承を得ることが条件であった。

(会長) 理学療法士講習会の講師については三宮理事の報告の通りに行い、他職種の講師の場合のポイント取得については、秋にある全国士会長会議で検討してもらい広報してもらうようにする。

6) その他

・医療保険連絡会議について

(三宮) 85歳以上の診療報酬等について PT・OT・ST3 団体で医療保険連絡会議を設け、リハ効果に関する県内実態調査を行うことになった。FIMに関して運動FIMと認知FIMを分けて提出してもらった方が良いのか否か協議頂きたい。また、FAX利用も検討頂きたい。

(会長) 当会 FAX を使用し、3 団体連名で送信予定。

(三宮) 認知 FIM は入院時から退院時まであまり変化がなく、運動 FIM はよく上がっているという結果が得られている。

(佐藤) 生活期では、大きな変化が見受けられない為、BIのみとなっている。

(会長) 運動と認知で分けるということでもいいか。また細かい分析をする際や、認知・運動の関係の調査などを行う際のデータとして使うという事も可能である。

以上、閉会

平成25年度 第6回理事会議事録（要約版）

日時：平成25年8月7日(水)19:00～20:45

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：(理事)大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・三宮・田島・筒井・光本 (監事)中島

(事務職員)石黒・前田・吉永

欠席者：(理事)北里・野津原・野間・増田(監事)寺川

書記：森内・中川(朝日野総合病院)

1. 報告事項

1) 平成25年度特別委員会報告

◇情報共有推進化特別委員会

(筒井)ホームページの管理画面にてテキスト上のデータが自動的なアップデートによって不具合が生じるという報告があっている。今回は対応していただいたが、今後アップデートに対応することで10万円程度の修正費用が必要になる可能性があるとのことである。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)協議事項にあげている熊本車いすふれあいジョギング大会の担当の方から協力ができないかというお誘いを受けている。

◇組織検討特別委員会

7月18日 新組織体制移行への説明と意見交換

7月29日 事務局調整会議

(前田)局付理事は現在検討中。

2) 九州ブロック役員研修会 **【坂崎専務理事】**

日時：平成25年7月6日 15:00～18:00

会場：麻生リハビリテーション大学校

内容：決算書の身方と確認

出席：北里堅二、坂崎浩一

公益法人の事業運営について

3) 医専連代議員会報告 **【増田理事】**

7/31熊本市医専連第32回代議員会が開催された。24年度収支決算、30周年記念行事決算報告、25年度事業計画(案)、25年度分担金(案)他承認された。

4) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

○第57回学術研修会

【変更後】

テーマ：「リハ専門医からのメッセージ

～リハビリテーション医療に必要な知識と管理～」

○第5回小児研修会

【変更後】

期日：平成25年7月28日(日)

場所：熊本託麻台リハビリテーション病院

テーマ：「新人の小児理学療法士による症例検討会」

内容：症例検討会

講師：奥村まなみ、五瀬彩乃

○第2回新人研修会「A-1 理学療法と倫理」

【変更】講師：北里堅二 → 森重康彦

○第5回吸引セミナー → 第4回吸引セミナー

5) 広報誌「かくどけい」掲載内容 **【広報部】**

一般市民向けのコンテンツとして、賛助会員紹介1社につきA4半分で紹介予定。

6) 第56回学術研修会追加募集について **【学術部】**

定員の100名に達したがキャンセル待ちの問い合わせがあり。さらに50名の追加募集をしたい。

7) 九州ブロック教育・学術担当者会議報告 **【大協理事】**

(大脇)7/7九州ブロック教育・学術担当者会議が福岡で開催、現職者講習会等の報告、今年度予定と次年度企画案の報告がされた。新人教育プログラム等への他県参加について“事務手数料の500円”徴収の旨が話し合わせ、次回九州ブロック士会長会議で検討頂くこととなった。

2. 協議事項

1) ホームページ管理画面について

【情報共有推進化特別委員会】

ホームページ管理画面でのテキスト入力エディターが、IE10の自動アップデートにより作動不良となり対応した。今後ブラウザのアップデートに同じようなことが起こる可能性がある。内容によっては10万程度の修正費用が必要になる場合がある。

(大島)その場合は予備費からの対応か。

(坂崎)対応可能。

2) 読売新聞社主催「第42回医療功労賞」候補者の推薦依頼について **【事務局】**

<応募資格>

・困難な環境下か専門分野で、15年以上献身的に職務に励んで功績をあげた医療従事者で、現在も医療業務に従事している人。

・年齢は原則として50歳以上

(平成25年10月31日現在)

・過去に褒章(紺綬褒章を除く)、叙勲、厚生労働大臣表彰(医療功労賞＝本賞、保健文化賞、身体障害者自立更生者等の天皇皇后両陛下への拝謁をとまなう表彰に限

る)を受けていない人。

※**推薦**切：9/13(金)

(大島)一度50歳以上のリストを出して頂いて、その中から選ぶということで良いか。

3) 公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について **【事務局】**

表彰の対象は、健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸業務における功績が特に顕著である場合である。個人については、公衆衛生事業に従事した年数が20年以上又は団体の役員歴が10年以上で年齢が50歳以上であること等。団体については、事業歴が10年以上であること等である。

(坂崎)個人は少し難しいかもしれない。

(前田)対象が絞られ、調べようもないため難しい。

(大島)今回は見送りということしたい。

4) 熊本県医療・保健・福祉連携学会企画委員の推薦について **【事務局】**

平成24年度委員：野間理事

※**推薦**切：8/9 第1回企画委員会：8/30

(大島)8/30は大島出席。それ以降は佐藤理事にお願いしたい。

5) 熊本県在宅医療連携体制検討協議会委員の推薦について **【事務局】**

職務内容：在宅医療に関する協議等

就任期間：～平成26年3月31日

※**推薦**切：8/7(水)

(大島)坂崎事務局長にお願いしたい。

(坂崎)了解。

6) 第29回くまもと車いすふれあいジョギング大会への協力について **【事務局】**

期 日：平成25年10月19日(土)

会 場：菊陽杉並木公園・さんさん

(坂崎)大会への後援、並びに競技後のサポートの対応ができないか。

(中島)公益事業に対する意識付けにもなるのでブロックで対応するという方法はいかがか。

(飯星)26年度からブロックが公益事業を率先して行うという話だったため、監事から提案があったように来年度に向けて公益事業に参加頂くことは、非常に良い。ブロック主体で対応したい。

(大島)では地区長を通じてお願いする。

7) 復職支援事業について **【厚生部】**

(光本)数年前からの懸案事項。復職支援事業を行うに当たって受け入れ先の施設が少ない現状である。部での検討としては以下の4点。①対象者は会員のみでいいのか。②研修費はいくらか。③理事所属施設での受け入れは可能か。④保険の対応はいかがか。

(坂崎)①に関して、非会員は会員登録が前提か。

(大島)「会員になってくれれば問題ない」という話である。では①に関してはこれでよろしいか。②以下は実態を調べていただいて、再度提出ということをお願いする。

(坂崎)④に関しては、費用は積立金から拠出する。現時点で、うちの会で掛けている保険は、役員や部員までが適用。参加者の保険は別途必要。どういった保険があるのかを検討頂きたい。

(大島)では、この件に関してはよろしいか。積極的にやるということ。とりあえずニーズの有り無しに関わらず作るということをお願いする。

・第4回災害リハビリテーションコーディネーター研修会について

(坂崎)大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会より来年3月1・2日開催の研修会案内がある。

(大島)当協会から誰か1名を派遣する。派遣するにあたっては、負担金が発生すれば当協会から支出する。派遣者は、三宮理事が第一候補、田島理事が第二候補、大島が第三候補としたい。

(中島)新組織にて、危機管理に関する委員会のようなものを立ち上げるかどうか検討頂きたい。

・組織検討特別委員会より

(前田)各局・部における進捗状況の報告について、新しく新組織体制で動いていく中で組織検討の必要性があるどうかについて、今ある分掌規程との整合性について確認をお願いしたい。

・公益法人移行記念祝賀会について

(大島)半田会長と小川副会長に出欠の確認を取り、両名とも出席の予定。山口議員に関しては国会審議中であることもあり、連絡が取れていない。他、熊本県の関係団体、それと九州ブロックの各士会長関係までは打診しようと思っている。現在三役レベルでまとめている。具体的には各理事に手伝っていただくように考えている。

以上、閉会

各部・委員会報告

福祉部

部長 木原 伸一

今後の福祉部の活動について、ご報告いたします。県民の皆様への貢献事業の一環として、毎年障害をもつ子どもさん達の就学等の支援を含めて介護教室を開催しています。

今年度も以下の内容で開催いたします。ご興味のある方はご連絡、ご参加をお待ちしています。

1. テーマ：障害を持つ子ども達の理解 ～保育園におけるリハビリテーションの活用～
2. 対象：熊本市の療育関係者（保育士、幼稚園教諭など）
3. 日時：平成 25 年 11 月 17 日（日）
9:30～15:30（受付 9:00 開始）
4. 場所：熊本託麻台リハビリテーション病院
2F 会議室
熊本県熊本市中央区帯山本山 3 丁目
3 番 84 号
☎096-381-5111
5. 参加費：¥1000
6. 定員：50 名（定員になり次第締め切らせて頂きます。参加される方は、基本的に一日参加となります。また参加決定者にはメールにて通知させていただきます。）
7. 申込み方法：①氏名、②所属施設名、③職種、④ 弁当の有無、以上 4 項目をメールアドレス m.namimoto@kcr.ac.jp まで記載し申し込み下さい。宛名は必ず「福祉部研修会申し込み」と記載をお願いいたします。
8. 申し込み締め切り：平成 25 年 11 月 1 日（金）
9. 問い合わせ先：九州中央リハビリテーション学院
理学療法学科 浪本正晴

また、昨年開催され参加者の多くが涙し、感動され、反響の大きかった福祉研修会「命の授業」を今

加をお待ちしています。

平成 25 年度「福祉研修会」を、「命の授業 ～夢を支えるセラピストへの提言～」と題して、神奈川県より「腰塚勇人先生」を講師にお招きして、研修会を企画しました。

元教師であられる腰塚勇人先生は、不慮の事故により深刻な障害を受けられ、懸命のリハビリテーションによって奇跡的な回復をされ、念願の社会復帰（教職への復帰）をされたご経験を通じて、人生も人生観も大きく変化されました。そのご経験から、全国の子供たちや大人に、「命の大切さ、生きていることの素晴らしさ、両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて、また、一人一人が誰かを照らす存在であること」を、講演を通じてメッセージを伝えられています。You Tube の「命の授業」動画は、30 万人以上の方が感動され、社会的に大きな反響となっています。

今回、腰塚先生の夢を支えたセラピスト達や関係者、ご家族の関わりを通じて、患者の視点からみた私達への提言をいただき、日頃の業務の中で薄れがち大切なことやリハビリテーションについて、たくさん気づきを皆様と分かち合いたいと思います。ぜひ、皆様方のご参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

1. テーマ：「命の授業 ～夢を支えるセラピストへの提言～」
2. 日時：平成 25 年 11 月 29 日（金）
18:30～21:30（予定）
3. 場所：九州中央リハビリテーション学院
講堂
4. 講師：腰塚 勇人（こしづかはやと）先生
（講演家、元体育教師・養護教員）
5. 参加費：会員 1000 円 会員外 2000 円
6. 申込み先：武蔵ヶ丘病院 梅田

E-mail：s-kihara@tanakakai.com

不安定な天候が続いておりますが皆様体調は崩しておられませんか？

事業部では 7月28日(日) 南部総合スポーツセンターにて第11回くまもと「PTあ！(ピタ)」っと健康講座を開催致しました。今年は、熊本城マラソン2連覇でご存知の方も多し地下翔太さんを講師にお迎えし『健康ランニング』と題しまして講演を行って頂きました。約90名の方にご参加いただいた講演会でしたが、非常に気温が高く蒸し暑い中で熱中症などの体調不良者が出るのではないかと心配されましたが、一人の体調不良者も出さず無事に終わることができました。

講演では普段から行うトレーニング方法やレース前の食事方法まで幅広く教えて頂き最後に実技を踏まえたトレーニング方法をご指導頂きました。やはりどのスポーツでも意識するところは同じで体幹が大事なんだと再認識しました。下の写真はトレーニングの一風景です(意外ときつい)。参加者の方々は普段から走っている方も多かったようで(中には200kmも走る方も)みなさん楽々となしておられました。



体育館での講演が終わると次はいよいよグラウンドに移動しての実技指導。雨が降りそうな嫌な天気でしたが、皆さんの思いが通じたのか何とか雨も降ることなく最後までもちこたえてくれました。グラ

ウンドでの運動はウォーミングアップの仕方や重心の移動を意識した歩き方など、外から見てみると楽そうな運動でもまじめにやるときついのですが効いていると実感することができました。参加者の皆さんはペースの速い方や遅い方、しゃべりながら取り組まれる方、黙々と取り組まれる方それぞれ思い思いの方法で楽しんでおられました。



予定の16時に無事に全スケジュールを終え閉会したのですが、地下さんのご厚意でしばらく参加者の皆さんからの質問攻め。最終的には17時までお付き合い頂きました。片づけ終了後最後に地下さんとお手伝い頂いた方々、事業部員で記念撮影を行いました。

地下さん、ためになる講演本当にありがとうございました。



事業部では来年度もこういった健康講座を継続して行っていきます。ぜひ皆さんご参加ください。

◎平成 25 年度の新人研修会について

今年度の生涯学習部主催の新人教育プログラム研修会は終了いたしました。皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。今年度は 14 テーマの講義を 2 日間で行う研修を 2 回開催することを試みました。一気に必要なテーマを受講できたことで新人教育プログラムを終了された会員も多かったことと思います。会員の皆様にとって今年度の方法はいかがだったでしょうか。新人研修会について何かご意見、ご感想などございましたら生涯学習部のメールアドレスまでお願い致します。

・新人教育プログラム修了処理について

新人教育プログラムの修了処理はマイページ上で行います。修了単位に達すると、仮修了というボタンが現れますので、そこをクリックすると修了申請が行えます。仮修了から修了に変更されれば、修了処理は完了します。日本理学療法士協会より新プロ修了証が発行・送付され、マイページ上で新プロ修了が確認できましたら、専門領域研究部会への登録をお願い致します。※会員歴 11 年目以上で新人教育プログラム未修了者は再度新人教育プログラムを履修する必要があります。

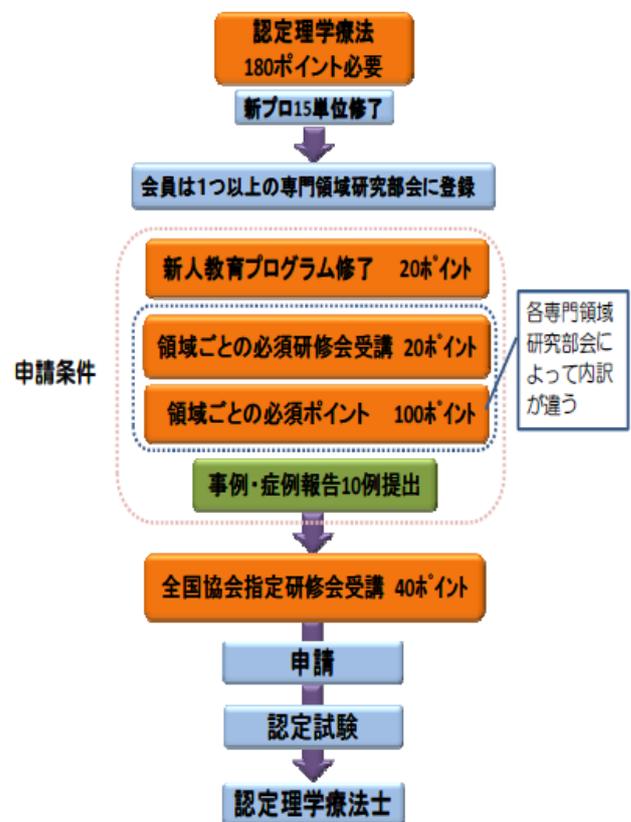
・専門領域研究部会について

7 つの専門領域研究部会から 23 領域の認定理学療法士に分かれます。認定理学療法士取得の流れについては研修会、講習会、学会等に参加、発表され合計 180 ポイントを取得し、事例・症例報告またはレビューレポートを作成し、認定理学療法士申請書と同時に申請提出します。それから認定試験を受験する流れとなっています。ただし、必要条件として新人教育プログラム修了 2 年以上が対象となっています。また、各専門領域研究部会によっても、ポイントの内容に違いがありますので、ご自分が属されている専門領域研究部会の内容を確認するようにお願い致します。

・新人教育プログラムの履修履歴修正について

マイページ上からログインしていただきお知らせの項目に「★履修履歴★よくあるご質問、修正依頼など」がありますので、そちらに詳細が記載されています。方法としては領収書や生涯学習手帳の複写とともに所定の書類に記載し、日本理学療法士協会まで送付するようになっています。マイページをご確認の上、履修状況に間違いがある方は早急に対応するようにお願い致します。

認定理学療法士取得までの流れ



・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが緊急の場合以外はメールにてお願い致します。

メールアドレスは… kpta.lld@gmail.com

緊急の場合は…

部長：當利賢一（所属：介護老人保健施設 清雅苑）

096-345-8112 内線 7308

法人事業審議委員会 委員長 大籠 安男

早いもので今年も残すところあと3ヶ月ほど。私なりの行動目標を掲げ、迎えた巳年ですが目標達成率は...行動を変えるって難しいですね!!午年までに最後の悪あがきで今一度初心に戻り実行しようと思えます!!

さて、法人事業審議委員会活動ですが、6月6日、8月8日に会議を行ないました。日本理学療法士協会および熊本県理学療法士協会理事会等資料をもとに、会長および委員で情報を共有しました。

我々が所属する日本理学療法士協会および熊本県理学療法士協会では様々な重要案件が山積する状況ですが、理学療法士の社会的立場は十分とはいえない状況ですね。

そのような中、我が熊本県理学療法士協会も公益法人を取得しました。「県民の健康に寄与する」という本会理念の達成のための法人化です。これからの活動如何で我々の存在価値、社会的地位が確定していくように思います。理学療法士の仕事をもっと誇れるようにするためのアクション!一緒に考えてみませんか?

渉外部 部長 坂崎 浩一

委員会委員調整

- ・熊本県在宅医療連携体制検討協議会委員調整
委員：坂崎浩一

諸会議出席

- ・在宅サービス手引書編集委員会(第5回)
日時：平成25年8月6日
会場：熊本市医師会館
出席：川上照美
- ・熊本市地域リハビリテーション協議会委員総会
日時：平成25年8月9日
会場：熊本市医師会館
出席：野津原 豊

- ・熊本市健康フェスティバル在宅コーナー打合せ会
日時：平成25年8月21日
会場：熊本市医師会館
出席：川上照美・坂田理江・井拓也
- ・熊本県医療・保健・福祉連携学会第1回企画委員会
日時：平成25年8月30日
会場：熊本県医師会館
出席：大島正道
- ・熊本県在宅医療連携体制検討協議会
日時：平成25年9月17日
会場：熊本県庁
出席：坂崎浩一

その他

- ・車いすふれあいジョギング支援に関する連絡調整
日時：平成25年10月19日
会場：菊陽杉並木公園・さんさん
内容：熊本市ブロック菊阿地区を中心に支援体制を検討中。
- ・熊本城マラソン2014 ボランティア支援
日時：平成26年2月16日
場所：マラソンコース沿道
内容：ストレッチ・マッサージ等(予定)
人員：20名程度のボランティアを募集予定。
(詳細は事務局まで)

● 公益社団法人 熊本県理学療法士協会記念講演会・祝賀会

公益社団法人認定を記念して下記の日程で記念講演会・祝賀会を開催することと致しました。(会員の皆様には各ブロックを通じてご案内申し上げます。)

- 日時：平成25年10月12日(土)
- 会場：ホテルニューオータニ熊本
受付 18:00
記念講演 18:30
祝賀会 19:00

近年稀に見る猛暑が過ぎ、秋深まる昨今。勉強するには最適の季節となりました。学術研修会も残すところあと1事業となりました(かくどけい発行時)。今年度は例年になく定員に達する時期が早く、キャンセル待ちを導入したり、定員の枠を拡大したりと大変盛況のうちに会を催すことができました。これも偏に参加いただく会員皆様のご協力の賜物です。残りあと1つの研修会も質の高い運営に心がけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

それでは、研修会進捗と今後のお知らせをいたします。

《開催予定》

『第56回学術研修会』

テーマ：「ペインリハビリテーション」

講 師：沖田 実 先生

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション学研究室)

講 師：松原 貴子 先生

(日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻教授)

日 時：平成25年9月8日(日)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：150名(定員に達しています)

※会誌発行時はすでに終了していますが次回の「かくどけい」で報告いたします。

『第57回学術研修会』

テーマ：「リハ専門医からのメッセージ

～リハビリテーション医療に必要な知識と管理～」

講 師：松元 秀次 先生

(鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター医局長 助教)

日 時：平成25年11月17日(日)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：100名

申込み期間：平成25年9月9日～10月25日

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フォームより

＜松元 秀次先生からのメッセージ＞

高度専門医療の拡大や少子高齢化社会の進展のなか、リハビリテーション(リハ)医療に対するニーズは年々高まり多様化している。一方で、PT/OTの数は年々増加し、プロフェッショナルとしての資質が強く求められている。本講座では、リハ医療を担うプロフェッショナルとして必要な知識だけでなく、チームリーダーとしての姿勢や今後のリハ医療のあり方についても熱く語り合いたいと思う。

《次年度予告》

まだ気が早いですが、平成26年度も充実した研修会を開催する予定です。公表は確定してから行いますが、いずれの研修会も募集開始後は早々に定員に達することが予想されます。会員の皆様には是非、**県士会HPのマイページ登録**を行い、新着情報が携帯やPCに届くように設定をお願いします。次年度も会員皆様のスキルアップに貢献することをお約束します！今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

○平成25年7月17日(水)10:00～抽選会参加
コミュニティーボードへのポスター掲示が可能になるための抽選会に参加し当選する。熊本市内のコミュニティーボード20箇所に掲示可能となる。

○平成25年7月17日(水)～ポスター掲示

参加者：草野、西橋、角田、林、大平、染田、井彩、岩崎、池上、井拓、志賀、島村、石田、宮本、奈良、坂梨

内 容：

・平成25年度の第11回くまもと「PTあ！(ピタ)」っと健康講座の広告のため、コミュニティーボードへのポスター掲示をする。

○ユニホームの貸し出し

平成25年9月8日(日)

・学術部の活動にて

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

九州北部豪雨で被災された皆様、東日本大震災の被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

教育部の前田です。上記東日本大震災から2年半がたちました。遅々として進まない復興や福島1日も早い完全復興をお祈り申し上げます。

さて当教育部では各研修会やお役立ち情報等の情報を、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信してまいりますので、ログインIDの登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会（以下：JPTA）のマイページ登録（どちらも無料）をよろしくお願ひ致します。

☆各班の活動です

◎卒後教育班：前号にも記しましたが、平成25年度の卒後教育班の活動は、ブロック地区での研修会開催を廃止し、2回の卒後教育研修会を中央開催し増す。単位認定に関しましても、従来どおりの新プロ(C-3)でも登録できますが、専門・認定理学療法士取得のポイントとなる研修会で、「リスク管理研修会」と「問題解決に関わる研修会」です。「リスク管理研修会」は8月25日(日)に熊本リハビリテーション病院本館2F地域交流ホールにて開催いたしました。当日は大雨が降りましたが、92名の皆様にお集まり頂き盛会の中に終えることが出来ました。ありがとうございました。来る10月20日(日)には「問題解決に関わる研修会」を開催いたします。協会HPにて情報発信しております。このかくどけいが配信される事が超と締め切り間近といった感じだと思ひます。是非多くの方のご参加をよろしくお願ひ致します。

◎臨床実習教育班：臨床実習教育班は、今年度の研修会事業が終わり、現在、CE(Clinical Educator)の育成カリキュラム作成とSVの手引き改定に向けた活動を中心に行っております。次年度の第9回臨床実習教育研修会に関しましては講師選定も終わり、

徐々に準備に入っております。次年度もぜひ多くのご参加をお待ちいたしております。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、PDFにて熊本県理学療法士協会ホームページ(<http://www.kumamoto-pt.org/>)お役立ち情報のページよりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：管理者教育カリキュラム(第1ステージ)第2クールが8月15日(木)～16日(金)に行なわれました。お盆でチケットが取りにくい時期でしたが、一人も欠けることなく参加いただきました。青磁野リハビリテーション病院徳丸由美子先生のコミュニケーションスキル、チームビルディングに始まり、朝日野総合病院野村一俊先生の地域医療連携(大腿骨近位部骨折)、熊本市市民病院橋本洋一郎先生に地域医療連携(CVA)についてそれぞれお話いただきました。今回は10月17日、18日に第3クールが行なわれます。良い準備をして良い学びが提供できるように頑張っておりますのでよろしくお願ひ致します。

もちろん第2ステージについても検討中です。皆様からも、ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き(第5版)を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材(財)育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私(前田) rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会

市民公開講座

人に役立つロボット作りを目指して

無料

http://www.kyushu-ptot.net/public_lectures.html



T73S BANRYU



TMSUK-5



T2-5



RODEM

講師：高本陽一先生

株式会社テムザック 代表取締役

11.24 (sun) 2013

11:00 ▶ 13:00



崇城大学市民ホール (熊本市民会館)

お申込み・お問い合わせ
第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会 広報部
上村 英輝 (阿蘇やまなみ病院) E-mail: public_lectures.kyupot35@kyushu-ptot.net

主催 公益社団法人 日本理学療法士協会 九州ブロック会・一般社団法人 日本作業療法士協会 九州各県士会
主管 公益社団法人 熊本県理学療法士協会・社団法人 熊本県作業療法士会
後援 熊本県・熊本市・(公社)熊本県医師会・(一社)熊本市医師会・(公社)熊本県看護協会・(一社)熊本県言語聴覚士会
熊本日日新聞・NHK熊本放送局・熊本放送・熊本県民テレビ・テレビ熊本・熊本朝日放送

詳しい内容はホームページへ！ [九州PTOT合同学会](#)



事務局だより

(公社)熊本県理学療法士協会 事務局
〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 7/2 医療保険連絡会議
：熊本託麻台リハビリテーション病院
- 7/3 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 7/3 理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 7/4 熊本県地域リハビリテーション支援センター運営委員会：熊本県医師会館
- 7/6 日本理学療法士協会九州ブロック役員研修会
：福岡市
- 7/10 部長会議：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 7/11 九州理学療法士・作業療法士合同学会開会式参加
依頼の挨拶回り：県庁、市役所、県医師会館
- 7/13 日本理学療法士協会九州ブロック各県理学療法士
会長会議：小城市
- 7/17 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 7/17 熊本県医療・保健・福祉団体協議会理事会
：熊本県医師会館
- 7/18 日本理学療法士協会半田会長特別講演会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 7/19 熊本託麻台リハビリテーション病院創立三十五周年
記念並びに新病院落成披露祝賀会
：熊本ホテルキャッスル
- 7/27 熊本県医療ソーシャルワーカー協会創立五十周年
記念祝賀会：熊本ホテルキャッスル
- 7/28 くまもと『PTあ!(ピタ)』っと健康講座
：南部総合スポーツセンター
- 7/30 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会
：九州中央リハビリテーション学院
- 8/21 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 8/25 リスク管理研修会(第1回卒業後教育研修会)
：熊本リハビリテーション病院

会員数 (H25. 8. 31 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 174 名

ブロック名	施設数 〔 ()内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	297 (82)	1431
県北	75 (17)	225
八代	82 (13)	289
天草	45 (7)	96
県南	20 (2)	45
合計	519 (121)	2086

掲示板

- 異動・休会・復会・退会等の手続きについて
平成 26 年 1 月以降、各種手続きシステムが変更になります。手続きについての詳細は今号巻末尾をご覧ください。
ご不明な点は事務局までご連絡下さい。
- 会員専用ページログイン申請のお願い
情報の発信・共有のため熊本県理学療法士協会ホームページの会員専用ページへのログイン申請をお願い致します。ログイン申請はホームページの「会員ログイン」からお手続きください。
- 平成 25 年度会費納入について
未だ納入されていない方は日本理学療法士協会より送付されるコンビニ・郵便局用の払込票にて、記載された期限までに納入して頂きますようお願い致します。
- 会費納入用楽天カードのお申込のお願い
会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。





県南ブロック

藤井 崇浩

通勤時に聴いているNHKラジオ第一「すっぴん!」で水曜日のパーソナリティを務めているダイヤモンドユカイさん。最近は何かに熱心なパパであるとか、『タネナシ』で自身の不妊治療の経験を手記になさっていたりとか、優しいイメージのあるユカイさんですが、以前はロックバンドRED WARRIORSのヴォーカルを務めていらっやいました。ラジオの中で仰っていたのですが、以前の仲間と接すると、自分の内在している荒々しい性格が引き出される、という話をされていました。理学療法士と患者様の関係も、共通しているものがあると思います。接遇の第一印象は、笑顔の占める割合が多いことは否めませんが、患者様と接する時、特に急性期で初診の場合など、ただ笑顔でいればいいわけではないと思うのです。音楽には『同調効果』といわれる効果があります。悲しい時や辛い時に楽しい音楽・アップテンポな楽曲を聴くと、余計に気持ちが落ち込んでしまうことがあり、却って短調の落ち着いた曲が気持ちを整えてくれたりすることがあります。相対する患者様の表情や動作から心理状態を汲み取って、適切な表情をつくっていききたいものです。とはいえ、「笑顔は最高のおしゃれ」（『手足のないチアリーダー』佐野有美）ですので、笑顔は忘れずにいたいと思います。

さて、県南ブロックでは来年度熊本県理学療法士学会の担当ブロックとなっておりますので、学会長・副学会長として推薦する方を決めました。7月には、くまもと芦北療育医療センターの立石PTの担当で、「キネシオテーピング」の勉強会を行いました。講義の後に実技もあり、テーピングを実施した後の指床間距離の変化がみられ、会員の間でも様々な質疑応答が

なされました。今後も、このような勉強会を実施していきたいと思います。立石先生、ありがとうございました。

八代ブロック

塚島 靖博

酷暑の夏もどうかひと段落、朝夕には患者さんと屋外歩行訓練もできるようになりました。涼しくなってきましたので、通勤を車から徒歩に戻してビール腹を減らさなくては・・・

7月12日に宇城地区の会議と懇親会が開催されました。70人以上の会議参加で、衆議院選挙へ向けての話、宇城地区の勉強会のお知らせや、地区長を宇城総合病院の山下先生から来年度には済生会みすみ病院の新谷先生へ交代のお知らせ、ブロックの活動として来年度は公益事業を企画したいので、各地区での健康祭りや、勉強会では理学療法士だけでなく多職種への呼びかけもしていければ・・・等盛りだくさんで会議終了。懇親会には38名の参加で、たくさんの情報交換が出来ました。

7月13日連続でしたが、八代地区懇親会では22名の参加で、またまた盛り上がりました。高口先生には連続参加して頂きありがとうございました。

10月27日は協会主催で呼吸領域小委員会の八代ブロック吸引セミナーが人吉の球磨病院で開催されます。定員20名です。

最近九州厚生局の個別指導が軒並みあっているらしいと噂をしていましたら、昨年9月に指導があったばかりなのに今年も9月に指導が入ります。病院建替えに伴い施設基準も上げたからでしょうか？
報告は次回致します。

天草ブロック

水田 順司

台風の通過にともない、朝晩共に涼しくなり、過ごしやすい季節となってきました。今年は天草でも39度を超える猛暑や熊本でも昨年に引き続き豪雨や全国的には竜巻などの異常気象などの報告があり、あらためて地球温暖化の影響を感じております。また、皆さんもご存知のごとく、2020年オリンピック・パラリンピックも無事東京が開催地に決定し、私も出張先のホテルで「TOKYO 2020」を見たときは、一人興奮しておりました。東京オリンピックに対する思いは人それぞれだと思いますが、私個人としては7年後のオリンピックに何

らかの形でたずさわられるようになりたいと思っております。

さて、天草ブロックからの活動報告です。7月14日(金)には第3回定例勉強会を開催し、26名の先生方に参加していただきました。今回のテーマは「脊柱―触診―」と題しまして、平井友規先生に講師をお願いし、骨盤帯を中心に講義と実技を行っていただきました。基本的な所ですが、これがしっかりできないと評価やアプローチへとつながっていかない非常に重要な点となりますので、皆さん集中して取り組まれておりました。



8月には毎年恒例の天草リハビリテーション研究会と合同で、サマーレクリエーションを開催し、31名の先生方にご参加いただきました。今年度は牛深、河浦地区に担当頂き、8月24日(土)に牛深のくたまふれあいセンターにて参加者を4チームに分け、ミニバレー、ドッチビー(フリスビードッジボール)、コロコロドッジボールの3種目を行いました。コロコロドッジボールでは息も絶えてしまい皆さん披露困憊状態でした。天草地区も平均年齢が上がり、当日のケガが心配でしたがなんとか大丈夫でした。大会終了後にはチーム成績を発表し、記念品の贈呈、その後は牛深のやすらぎの湯で温泉に入り、最後にはもちろん大宴会で終了となりました。企画運営いただきました牛深・河浦地区の先生方、並びにご参加いただきました皆様にこの場をおかりしてお礼申し上げます。



学会・研修会印象記

「ペインリハビリテーション」の研修会に参加して

合志第一病院 松下良美
今回開催された第56回学術研修会「ペインリハビリテーション」を受講してきました。午前中は長崎大学大学院医歯学総合研究科教授の沖田実先生による痛みの基礎、痛みの神経生理学を始め、末梢に対するリハビリテーションの考え方を学びました。急性痛と慢性痛の定義から教わり、特に慢性痛は感覚だけでなく、情動・認知を含めた多面的なアプローチが必要になる事を認識しました。また術後の安静期間が長く不活動な状態が続くほど、慢性痛に繋がりやすくなる事が臨床実験結果からも証明されていて、とても興味深いものでした。このような慢性痛への移行を防ぐためには、早期からの運動療法の介入の重要性を言われていました。

午後は日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻教授の松原貴子先生による痛みの病態メカニズム及び評価と治療の実際についての講義でした。慢性痛は身体機能のみではなく精神心理面・社会生活が制限され、それらを含めた対応が必要になるとのことでした。実際の臨床では疼痛をとるための一手段として物理療法が良く使用されますが、それだけでは痛みのコントロールが出来ない事を知りました。疼痛からおこる認知・情動は人によって感じ方が異なるため、ひとつひとつ原因となるものを解決しなければなりません。その為には、患者様に安心感を与えられるようなコミュニケーション技術が必要だと感じました。また患者様本位での介入を行い自分自身で目標を決めて実践してもらえるようリハビリテーションの展開を学び、治療の幅が広がりました。

今回お二人の先生方の講義を聞くことが出来、学生時代では学ぶことが出来ない貴重な経験ができました。今まで捉えていた痛みの考え方が変わり、新たな発見に繋がりました。実際の臨床で患者様への接し方などを改めて考えさせられるいい講義となりました。

大 観 望

『この頃思うこと』

福祉部部长 武蔵ヶ丘病院 木原 伸一

ようやく猛暑が過ぎ、先日からの山口議員のご当選、2020年オリンピック開催地に東京が決定したことなどが、嬉しいニュースになっているこの頃です。

最近、病院としてのリハ部門の今後の展開や求人をするのか、理学療法士の将来を含めて私達福祉部でも取り組める今後の展開とは何か、などについて話し合う機会が多いのですが、次年度の診療報酬改定だけでなく、2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築、医療・介護制度の変化の中で、私達理学療法士がどう役割を担いながら専門性を発揮し貢献していけるのか、改めて大きなターニングポイントにいるように感じています。

特に後期高齢者人口のピークを迎える2025年に向けて、住み慣れた地域での安心・安全で希望する生活を送ることができる社会づくり（その人にとって適切な医療・介護サービスが受けられる社会へ）のため、「地域包括ケアシステムの構築」が緊急の課題とされていますが、人口・世帯・疾病構造の変化を含めて、さらなる在院日数の短縮化、進む在宅化への在宅医療・介護サービスのニーズの向上、介護予防施策の推進、終末期リハニーズの高まり、フォーマル・インフォーマルサービスを含めた地域づくり、など多様な変化が予測されています。

その中で、先月のJPTA NEWSで半田会長がメッセージで言われた「なんちゃってリハビリ」などと言われないような回復期を中心とした集中的・効果的なリハの充実、退院支援機能の強化、訪問リハ（ステーション構想を含めて）を含めた在宅リハサービスの充実、ケアマネジメントにおける自立支援へのリハ機能の強化、リハビリテーションマネジメントの機能強化、介護予防

分野でのリハ機能の強化、障害があってもいきいき元気で暮らせる地域づくりへのリハ的貢献、などなど私達が行っていることを、より戦略的・効果的に展開していく事が今求められているのではないのでしょうか。

医療福祉分野だけでなく世界経済を含めた大きな変化の中で、国や協会の方向性をふまえながらも、素晴らしい未来に向けて、私達一人一人がビジョンをもって変化やプロセスを楽しみながら、今自分にできることを一生懸命取り組んでいければ、明るい未来を引き寄せていけるのではないかと考えています。

私の職場での新人教育の目標のひとつに、「どこでも通用する、他からも声をかけてもらえるような、リハマインドを持った、できる・できたセラピストを目指そう」、そのために船井先生の言葉にある「感謝、素直、プラス思考、勉強好き」を大切に取り組んでいる所です。「患者様のQOLの向上」、「スタッフのQOLの向上」、「地域社会資源のひとつとしての病院・職場の発展」、「よりよい地域への発展」に貢献することなどを目標に、共に可能性にチャレンジしていきたいと思っています。

これからの大変革の時代を、私達にとっての「本質」と「目的」を大切に、一人一人の理学療法士が意識を持って成長しながら、共に可能性にチャレンジしていければ、よりよい未来につながっていくのではないかと考えているこの頃です。最後になりますが、私達の未来のために、昼夜を問わずご尽力いただいている北里会長や理事、執行部の皆様方に、この場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。

『オリンピック・パラリンピック』

学術事業部部长 比企病院 岩田 輝彦

最近の重大ニュースと言えば、オリンピック開催地として東京が選出されたことではないでしょうか。前回の東京オリンピックが1964年ですから56年ぶりの開催ということで、オリンピックを直接見ることでできる機会が訪れようとしています。

オリンピックの候補地になるために、2013年1月に立候補ファイルをIOCに提出し、その上で今回のプレゼンテーションを行い、日本全体で開催しようという思いが伝わった結果が今回の決定につながったと思われます。その立候補ファイルの存在をテレビで知り、興味を持ったので、インターネットで調べると3巻セットで招致委員会のHPから見る事が出来ます。内容は、全体ビジョンから始まり、運営、財政、セキュリティ、医療、大会会場など14項目にわたって説明されていました。インフラ整備などもその中に記載されましたが、オリンピック開催決定後に為末選手の発言を研修会で北里会長が紹介されていたらしいです。

ので、ここでも紹介したいと思います。

「パラリンピック都市計画：我々が今使っているインフラは1964年の東京オリンピックの時に整えられたものです。

2020年に向けて作られるインフラもまた、30～40年後の日本の大切な設備です。日本は2050年には高齢者の人口に占める割合が40%を超えます。その人々が快適に暮らせるようバリアフリーのインフラを整えることに力を注いで頂きたい。そして、世界中の先進国が高齢化を迎える中、日本がお手本となってそのモデルを構築していくことも重要だと思っています。」

私も理学療法士として広い視野で物事を考え、先を見据えた行動が出来るように、バイタリティを養わなければならない。と感じました。オリンピック開催に向かい、インフラ整備や汚染水問題などの早急な対策がどんどん進む事が望めます。オリンピック開催を楽しみに待ちたいと思います。

PT Walker くまもとの理学療法情報 熊本 賛助会員紹介編

今回より4回シリーズで、(公社)熊本県理学療法士協会の賛助会員を紹介します。

アメックス熊本株式会社

アメックス熊本株式会社
The welfare instrument sale shop

(株)アメックス熊本は、身体障がい者の職場を確保し、社会参加の機会を実現させたいとの熱意が共感を呼び、昭和61年に設立されました。

単に機器や器具の販売をするだけでなく、障がい者や高齢者の状況を十分理解し、それらの機器を的確に届けるべきだとの理念から、障がい者従業員の方々の主体性を尊重し運営することを第一義務的に大切にされています。

所在地：熊本市東区尾之上 1-3-9

TEL : 096-384-6565

FAX : 096-364-0865

E-mail : info@amex-k.jp

事業内容

1. 医療機器・医療消耗品の販売
2. 義肢・装具の制作及び販売
3. 福祉用具レンタル、販売
4. 身障者用機器・用具の制作及び販売
5. 介護保険他一切の損保代理業務
6. 上記付帯関連する一切の業務



オンライン介護ショップ



介護用品をお届け致します!
福祉用具のプロショップ

すまいる あめっくす

<http://www.eshop-plus.com/amex/>

有園義肢株式会社

思いやりを形に、ベストサポートをめざします
有園義肢株式会社

(株)有園義肢は、昭和44年3月に設立されました。医療・福祉・介護の分野に、優れた製品と真心のサービスを提供し、人々の健康で豊かな人生の実現と地域社会の発展に貢献されています。

所在地：熊本県八代市長田町 3300 番地

TEL : 0965-33-3983

FAX : 0965-32-1492

E-mail : info@arizono-gishi.com

事業内容

1. 義肢装具の製作・修理
2. 整形外科靴の製作・修理
3. 座位保持装置の製作・修理
4. 福祉用具の製作・修理及び販売並びにレンタル
5. リハビリテーション機器・医療機器の製作・修理
6. 前各号に付帯する一切の業務



ADVANFIT

ORTHOPEDICS & REHABILITATION TECHNOLOGY

いつでもどこでも安心してご利用いただけます
ケアパーク株式会社

足と靴の健康館
シュプール



よろず運動療法相談所

スポーツ小委員会

「手軽にできる腰痛体操」

腰痛体操とは腰痛を改善するために行う体操のことですが、今回はストレッチを中心とした体操をご紹介します。

これは、**ゆっくりと筋肉を伸ばすストレッチ運動**をすることで、血行をよくして、痛みを軽減するものです。それと、腰痛の治療でよく用いられるものとして、もうひとつは**筋肉のトレーニング**です。腰に負担がかかりにくい姿勢を保つにはある程度の筋力が必要です。筋力が無いと、腰や背中が丸まった姿勢になりやすく腰に負担がかかってしまいます。

したがって、**効果的な腰痛体操とは、筋肉を伸ばし血行を改善するストレッチ運動と、腰に負担がかからない姿勢を保つための筋力を養う筋肉トレーニングを両方組み合わせたもの**だと言えるでしょう。

体操例

①片膝抱え込み



片側の膝を両手で胸の方へゆっくり抱え込みます。(10～20秒保持) 反対側の脚は浮かない様にベッドにつけておきます。

②腰の捻転



仰向けに寝て両手を広げ、片膝を伸ばしたまま交差します。(20～30秒保持) ※上の脚のお尻を意識して伸ばします。

③片足挙げ



仰向けに寝て片側の膝を立て、反対側の膝を伸ばしたまま脚を上へ挙げていき、足首も挙げましょう。(10～20秒保持) ※お尻・太ももの後ろ・アキレス腱を伸ばしましょう。

④腹筋運動



仰向けに寝て、両膝を立てます。おへそを覗き込むように上体を起こします。※痛みの強い時は、覗き込むだけで良いです。下腹部を意識して力を入れます。

⑤背筋運動



腹ばいにならないうつ伏しに寝て、おなかの下にクッションなどをひき上体を反らします。(5～10秒保持) ※痛みの強い時は、少々反らすだけで良いです。

注意点

痛みの出ない範囲で無理をしないで実施しましょう。一般に腰痛体操は「予防」体操ですので、腰痛の強いときに行ってははいけません。また比較的強い痛みが長期間持続するようなこともあるので、そういった場合は**専門家（整形外科）**に相談して下さい。 (文責：西村英治)

医療・介護お役立ち情報

このページでは理学療法士協会が主催して行なった研修会より、市民の皆様方に医療・介護で役立つ情報をお伝えします。

第3回目は「自立を促す介護のポイント：起き上がり編」をお送りします。

片麻痺患者さんに対する起き上がりの介助

今回は脳卒中後の片麻痺（体の半身の運動が障害され、麻痺をきたした状態）患者さんに対する起き上がりの介助方法をお伝えします。

お一人で座ることができる方であれば、**起き上がる過程のすべてを手伝う必要性はありません。**

どの過程がうまくいかないかを最初に確認して、その部分だけを介助します。

日常生活の中で確認し、練習を重ねることが、**廃用予防と介護負担軽減につながります。**

●肘をつきやすいスペースを確保する（写真1）

健康な方は腹筋の力や反動を利用して起き上がることが可能ですが、筋力の弱い方や片麻痺患者さんは、肘をついて弧を描くように起き上がると楽に行うことができます。腕の力が強い方はベッド柵を健側（麻痺の無い力が入る方）の手で握ります。その後、肘を伸ばして健側肘がつきやすいスペースを確保します。

※ご自分で力が入らない患者さんの場合は、**介助者が肘をつきやすいスペースを確保**します（写真1は右片麻痺を想定しています）。



写真1

●肘から下を固定し、肘を支点として起き上がる（写真2）

支点となる健側の力がずれないように、**肘関節の少し下の前腕部**（肘から手首までの部分）を**介助者の手で固定**します。介助者は麻痺側の肩を覆い、前腕部で頭を支持します。次に**肘を支点に、介助者に向かって上体を起こして**もらいます。



写真2

●患者さんの足の重みを上手に利用する（写真3）

上体を起こしてもらった後に、そのまま肘を伸ばして最後まで起き上がるのではなく、**患者さんの足をベッドから下ろすことにより、重みを上手に利用すると更に楽に腰かけることができます。**少しでも力が入る患者さんであれば協力してもらいます。



写真3

●目的をはっきり伝える

起き上がりを介助する場合に、患者さんの名前を呼んだと同時に掛け声だけでいきなり上体を起こすような介助を見かけることがあります。これでは自立を促すことは出来ません。例えば起き上がって腰かけて頂くなど、**今から何を行うのかを相手にはっきり伝えることはとても重要です。**患者さんの力を引き出すことが、自立を促すことにつながります。

也士会 便り 富山

『転ばぬ先の杖』

あまりにも有名なことわざ「転ばぬ先の杖」、転倒予防教室や普段の業務の中でもよく使われている言葉かと思えます。失敗しないように、万が一に備えてあらかじめ十分な準備をしておくことのとえで、転んでから杖を用意しても何の意味もなさない。転ぶ前に用心して手に杖を持つべきだという意味です。(故事ことわざ辞典より)

下肢の骨折後や股・膝の人工関節手術後などに「杖を使いましょう。」などと指導する場面が多いことでしょう。同義語に「備えあれば憂いなし」、「濡れぬ先の傘」などがあるようです。

さて、杖は歩くことが難しい方を助ける(補う)ための用具として使う、歩くときのバランスを補う(安定性を高める)、歩くときの速さを保つ、歩くときの疲れを減らす、歩くときの痛みを和らげるなど、歩く練習を行う場合の歩行補助用具として使われ、状態に応じていろいろな杖の形を選択することになります。

しかし、比較的年齢の若い方は病院で使っている、家に帰って杖を使うことを嫌がられる傾向にありませんか。年寄りに見られたくない、病人やけが人に見られるのが嫌、じゃまくさい、いろいろ個人的な理由があろうかと思えます。

古代では杖は神や王の尊厳と威光のシンボルとして大事にされ、中世では君主や僧侶の象徴として不可欠であり、近世では紳士・淑女のたしなみとして重要なアクセサリとされていました。もちろん権威の象徴だけでなく護身用や歩行の補助としての実用性もありました。近年では残念ながら杖はあまり市民権を得ていないのが実情でしょうか。そのため関節の痛みを和らげるために、あるいはふらついて危ないときは

仕方なく使いますが、転倒の予防として常時杖を使っていたくのは受け入れが難しいようです。

健康増進や健康維持、健康寿命を延ばす、という言葉は入りやすいですが、いつ来るかわからない病気やけがのために、予防し続けることは難しいものです。「転ばぬ先の杖」は杖という形に見える物だけでなく、やがて起るかもしれないことへの心構えとして大事なものと思われまます。これから押し寄せてくる団塊世代の高齢化、別居や未婚などによる独り暮らし世帯の増加など社会的には大変な時代が来ようとしています。理学療法も健康寿命を延ばすための予防として期待されています。我々も社会の杖として「転ばぬ先の理学療法」となれるよう心掛けていきましょう。

(富山 No.129)

学会・研修会のお知らせ

第57回学術研修会 リハ専門医からのメッセージ リハビリテーション医療に必要な知識と管理

【講習会内容】

画像所見・血液検査所見・筋電図・心エコー・胸部CTなど脳血管疾患や神経筋疾患を対象に最新の知見を踏まえ、リハビリテーション医療に必要なリスク管理・検査所見の見方が理解できる内容となっております。画像や動画による具体的な内容となっており、臨床の現場に活かせる知識がたくさん詰まっている講演内容となっております。

記

- 講師：松元 秀次 先生
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科運動機能修復学講座リハビリテーション医学診療講師)
- 日時：平成25年11月17日(日)
9:00~16:00
- 場所：九州中央リハビリテーション学院
- 対象：PT、OT、ST、その他医療専門職
- 受講費：熊本県理学療法士協会
- 会員：3,000円 会員外：5,000円
- 申込期間：平成25年9月9日(月)
~10月25日(金)

【参加申し込み・問い合わせ】
熊本県理学療法士協会ホームページ

学会・研修会のお知らせ

福祉研修会

命の授業

～夢を支えるセラピストへの提言～

平成 25 年度「福祉研修会」を、「命の授業～夢を支えるセラピストへの提言～」と題して、神奈川県より「腰塚勇人先生」を講師にお招きして、研修会を企画しました。

元教師であられる腰塚勇人先生は、不慮の事故により深刻な障害を受けられ、懸命のリハビリテーションによって奇跡的な回復をされ、念願の社会復帰（教職への復帰）をされたご経験を通じて、人生も人生観も大きく変化されました。

そのご経験から、全国の子供たちや大人に、「命の大切さ、生きていることの素晴らしさ、両親・家族・仲間大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて、また、一人一人が誰かを照らす存在であること」を、講演を通じてメッセージを伝えられています。

You Tube の「命の授業」動画は、30 万人以上の方が感動され、社会的に大きな反響となっています。

今回、腰塚先生の夢を支えたセラピスト達や関係者、ご家族の関わりを通じて、患者の視点からみた私達への提言をいただき、日頃の業務の中で薄れがちな大切なことやリハビリテーションについて、たくさんの気づきを皆様と分かち合いたいと思います。

ぜひ、皆様方のご参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

記

日時：平成 25 年 11 月 29 日(金)
19:00～21:00

場所：九州中央リハビリテーション学院 講堂
講師：腰塚 勇人(こしづかはやと)先生
(講演家、元体育教師・養護教員)

演題：「命の授業～夢を支える
セラピストへの提言～」

参加費：会員 1000 円 会員外 2000 円
対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療保健福祉関係者、一般の方、等

申込み方法：

①氏名②所属先③職種④協会会員番号(理学療法士のみ)⑤連絡先、をご記入の上、メールアドレス「reha@yamaga-reha.jp」、又は FAX「0968-43-4153」に、宛先を「山鹿温泉リハビリ病院 一安様 福祉研修会申し込み」と記載し、お申し込み下さい。

申込み締切日：平成 25 年 11 月 8 日(金)

問い合わせ先：

山鹿温泉リハビリ病院 西・一安
TEL 0968-43-4151

介護教室

障害を持つ子ども達の理解

～保育活動におけるリハビリテーションの活用～

本協会が例年行っております教育・療育機関向けの研修会「障害を持つ子ども達の理解～保育活動におけるリハビリテーションの活用～」というテーマで、下記のような研修会を企画しましたので、ご案内申し上げます。

今回は、保育園でリハビリテーションをどのように活かすのかという視点で、その保育園での実践例と感覚統合療法を保育活動にどのように活かすかについて三名の先生にお話をさせていただきます。

多数の皆様が参加されますよう重ねてお願い申し上げます。

記

テーマ：障害を持つ子ども達の理解

～保育園における

リハビリテーションの活用～

対象：熊本市の療育関係者

(保育士、幼稚園教諭など)

日時：平成 25 年 11 月 17 日(日)

9:30～15:30

(受付 9:00 開始)

場所：熊本託麻台リハビリテーション病院

2F 会議室

熊本市中央区帯山本山 3 丁目 3 番 84 号

TEL 096-381-5111

参加費：1000 円

定員：50 名

(定員になり次第締め切らせて頂きます。参加される方は、基本的に一日参加となります。また参加決定者にはメールにて通知させていただきます。)

申込み方法：①氏名②所属施設名③職種④弁当の有無、以上 4 項目をメールアドレス m.namimoto@kcr.ac.jp まで記載し申し込み下さい。宛名は必ず「福祉部研修会申し込み」と記載をお願いいたします。

申込み締切日：平成 25 年 11 月 1 日(金)

問い合わせ先：

九州中央リハビリテーション学院

理学療法学科 浪本正晴

TEL 096-322-2200

FAX 096-322-6464

異動・休会・復会・退会等の手続きについて

※平成 26 年 1 月より異動等手続きシステムが大幅に変更になります。



会員異動等各種手続きが WEB のみになります。

(県外異動、入会、休会、復会、退会の場合、熊本県理学療法士協会専用の別途手続きが必要です)

【紙申請廃止への経緯】

協会システムの整備によって、各種申請が WEB から実施できるようになり、業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することになりました。

【廃止される紙申請の内訳】

入会申請、異動申請、休会申請、復会申請、退会申請

【紙申請の廃止日】

平成 25 年 12 月末日

【廃止日以降の対応について】

廃止日（平成 25 年 12 月末日）以降、Web の環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へご連絡ください。協会から用紙を個別にお送りします。

《日本理学療法士協会 異動申請システム》

異動等会員データに変更がありましたときは Web 申請にて手続きをお願いいたします。

日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】よりログインしお手続きください。

■異動

1. 勤務先異動・改姓・自宅住所変更等により会員登録に変更が生じた場合、Web 申請にてお手続きください。

■休会

1. 休会を希望する場合は、Web 申請にて手続きください。
2. 休会期間は 1 年単位となります。
休会期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとなり、年度途中の休会も終期は 3 月 31 日となります。

3. 休会期間満了時（3月31日）までに復会・休会継続・退会いずれかの手続きが必要となります。
* なお、「休会継続」の手続き受付期間は【1月1日～3月31日】までとなります。
期間外は受付出来かねますので、ご了承ください。
満了時までには手続きがない場合、規定により**退会**となります。
再度、入会を希望する場合は、入会金・入会手続きが必要となり、新人教育プログラム・生涯学習基礎プログラムが再履修となります。
4. 休会中に改姓・連絡先の自宅住所が変更になった場合は、Web申請にてお手続きください。
5. 休会中の研修会等への参加資格はなくなります。

■復会

1. 休会中の会員が復会を希望する場合、Web申請にてお手続きください。

■退会

1. 日本理学療法士協会及び都道府県士会を退会する場合は、Web申請にてお手続きください。
2. 会員証カードは速やかに日本理学療法士協会へ返送いただきますようお願いいたします。

【会員証カード返送先】 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5

日本理学療法士協会事務局 会員管理部 宛

- 【注意事項】
- ・年度途中の入会・復会・休会・退会の場合は当年度会費全額の納入が必要となります。
 - ・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、申請は受理出来ません。
 - ・当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。

※Web申請に関してご不明な点がございましたら、日本理学療法士協会へお尋ねください。

《熊本県理学療法士協会 異動申請システム》

熊本県理学療法士協会では、県外異動、入会、休会、復会、退会の場合、従来通り専用の手続きが必要です。手続き方法はWeb申請後、後日改めてご案内致します。

<手続き終了連絡について>

- ・異動に伴いブロックが変更になった場合のみ、新しい所属ブロックについてご連絡致します。
- ・休会者には休会期間についてご連絡致します。
- ・その他は郵送物等の宛先で内容の確認をお願い致します。
- ・提出から1ヶ月以上経過しても前登録内容で郵便物が届く場合は、お手数ですが県協会事務局までご連絡下さい。内容に誤りがある場合も申し訳ありませんがご連絡頂きたくお願い致します。

※ ご不明な点がございましたら、県協会事務局までお尋ね下さい。(Tel 096-389-6463)

事業予定表

10月		11月		12月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	火	1	金	1	日
2	水	2	土	2	月
3	木	3	日	3	火
4	金	4	月	4	水
5	土	5	火	5	木
6	日	6	水	6	金
7	月	7	木	7	土
8	火	8	金	8	日
9	水	9	土	9	月
10	木	10	日	10	火
11	金	11	月	11	水
12	土	12	火	12	木
13	日	13	水	13	金
14	月	14	木	14	土
15	火	15	金	15	日
16	水	16	土	16	月
17	木	17	日	17	火
18	金	18	月	18	水
19	土	19	火	19	木
20	日	20	水	20	金
21	月	21	木	21	土
22	火	22	金	22	日
23	水	23	土	23	月
24	木	24	日	24	火
25	金	25	月	25	水
26	土	26	火	26	木
27	日	27	水	27	金
28	月	28	木	28	土
29	火	29	金	29	日
30	水	30	土	30	月
31	木	31	日	31	火
予定		予定		予定	
第8回理事会 卒後教育班会議 第48回全国学術研修大会(～5日) (浜松市) 第45回市民公開講座 理学療法士講習会(基本編) 学術部会議 第5回天草ブロック勉強会 法人設立記念祝賀会 ※ 管理者教育カリキュラム 第1ステージ(第3クール) (～10/18) ※ 管理・運営教育班会議 佐賀県士会 公益社団法人移行記念祝賀会 ※ 問題解決についての研修会 (第2回卒後教育研修会) ※		日本理学療法士協会倫理担当者 研修会 第2回拡大理事会、第9回理事会 九州ブロック現職者講習会 (～11/10) 日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病市民公開講座第2弾 熊本県医療人育成総合会議 第57回学術研修会 介護教室 九州理学療法士・作業療法士 合同学会(～11/24) 福祉研修会		第46回市民公開講座 第3回部長会議 第10回理事会 日本理学療法士協会組織運営協議会 管理者教育カリキュラム 第1ステージ(第4クール) (～12/20)	
福岡県士会公益社団法人移行記念式典・ 講演会・祝賀会(10/12) 法人事業審議委員会(10/17) 日本理学療法士協会選挙管理運営委員会 (10/19) 歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー (10/20) ●八代ブロック会議 ●天草ブロック会議		●第6回小児勉強会 ●県北ブロック会議 ●玉名市健康食育福祉フェア ●水俣市健康まつり		●熊本市ブロック会議 ●天草ブロック会議 ●天草ブロック忘年会	

学術事業部文献紹介

『腎臓リハビリテーション』

上月正博 編著
発行所 医歯薬出版株式会社

本書は日本で初めての腎臓リハビリテーションに関する書籍である。

本の内容は以下の章で構成されている。

- 第1章 腎臓リハビリテーション総論
- 第2章 腎臓病をめぐる基礎知識
- 第3章 腎臓リハビリテーションに必要な評価
- 第4章 腎臓リハビリテーション各論
- 第5章 依存症に対するリハビリテーションのポイント
- 第6章 腎臓リハビリテーションの運営

透析患者の運動耐用能は、心不全患者や COPD 患者のものと同レベルまで低下しており、運動耐用能の低下の高い患者ほど生命予後が不良となっている。透析患者に運動療法を行うことで運動耐用能の改善、低栄養・炎症複合症候群改善、蛋白異化抑制、QOL 改善などをもたらすことが明らかになっている。

透析患者に対して、理学療法士がリハとして運動療法を行っていくことの重要性や注意点、実際の運動など多くのことについて学ぶことができた。また、透析患者のリハビリテーションだけでなく、心不全や呼吸不全を合併した方のリハビリテーションなど幅広く深く学ぶことができる一冊となっている。

(文責: 岩田輝彦)

『新編 内部障害のリハビリテーション』

編集者 上月正博
発行所 医歯薬出版株式会社

近年、リハビリを行う患者層の高齢化が進むにつれて、種々の内部障害を有している患者が増加している。

内部障害に対するリハビリは、呼吸や循環機能に関してはその有効性が広く認められるようになってきており、エビデンスが得られている。その他の内部障害に対しても、エビデンスが得られているものは呼吸・循環領域に比べると少ないが、各治療ガイドラインに有効な治療の1つとして記載されることが多くなってきている。そのため、内部障害を原因疾患としている患者だけでなく、運動器や脳血管疾患領域においても、目の前の患者がどのような内部障害を抱えており、どのようなリハビリやリスク管理が必要かを把握することは重要である。

本書は呼吸、循環、腎臓、肝臓、小腸、代謝、直腸・膀胱、臓器移植、摂食嚥下障害、癌、HIV 感染症について、基本的機能や病態、リハビリの効果やリスク管理などがまとめられている。リハビリを行う原因疾患だけでなく、一人の人間として内臓や代謝機能にも対応できるようにするために、一度は目を通しておく必要がある書籍である。

(文責: 宇野 勲)

編集後記

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。7年後の大舞台に、夢と希望が膨らみます。できれば生で、スポーツの祭典を観戦したいものです。

さて、巷では早くも今年の流行語大賞の話題が出始めています。すでに数々の名言が生まれているようですね。…実りの秋、食欲の秋。甘〜い♪「おもてなし」大好きな私は、体重計見て「じえじえじえ!!」とならないよう気を付けなければ…。 (M.M)



公益社団法人熊本県理学療法士協会 広報誌「かくどけい」

号 数
発行日
発行人

第111号 通算148号

平成25年9月30日

公益社団法人熊本県理学療法士協会

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35

TEL/FAX 096-389-6463

STAFF

坂田 大介	岩村 泰年
江口 宏	中野 真実
緒方 美湖	紫垣 華苗
奥 蘭 彩	富永 誠
野田 智愛	渡邊 知子
松本 美香	有馬 正英
古川 晃次	中熊 麗
渡邊 大輔	南 留美子
福田 圭祐	岩見 幸省
野尻 晋一 (表紙)	

